

令和8年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立畑地小学校

1 自己評価書

教育目標 ふるさとを愛し、一人ひとりの笑顔があふれる畑地っ子の育成									
基本方針		1 一人ひとりの良さを伸ばし、基礎・基本の定着を図りながら知・体・徳の調和のとれた児童の育成に努める。 2 ふるさとを愛し、ふるさに貢献しようとするシビックプライドの醸成を目指し、学校運営協議会と連携した地域とともにある学校づくりを推進する。 3 教職員の一人ひとりの良さを生かし、幅広い研修を通して、教職員の指導力と学校の組織力を高める。							
本年度重点目標		◎「畑地ならではの」「畑地だからこそできる」教育活動の推進 1 特別支援教育の充実と人権・同和教育の推進 2 確かな学力を育てる教育の推進 3 生き抜く力を育てる教育の推進 4 働き方改革の推進 5 安心して学習できる環境の整備 6 学校・家庭・地域が連携・協働した特色ある学校づくり							
評価項目	評価小項目	評価の観点		評価資料	評価	平均	評価		
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析結果を基に、「身に付けさせたい力(学習の目標)」の明確化を図り、組織的に推進することができたか。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施			後期のみ		
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業モデル(1人1台・考え方を養える)を視点に授業改善に努めたか。	・教師アンケート	B	2.8	B		
			お子様は、基礎的な学力(読む・書く・計算)や、家庭学習(1、2年30分以上、3、4年45分以上、5、6年60分以上)の習慣が身に付いていますか。(宿題も含む)	・保護者アンケート	B	2.67			
			授業では、これまで思っていたことや考えていたこととはちがう、新しい発見ができましたか。	・児童生徒アンケート	B	3.18	B		
			文章を正確に読み取る、情報を整理・活用するなど読解力の育成に努めたか。	・教師アンケート	B	3			
			文を正しく読んだり、資料を使ってまとめ学習を行ったりできますか。	・児童生徒アンケート	B	3.09			
	③	家庭学習の充実	一人1台端末やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりしたか。	・教師アンケート	B	3.4	B		
			学校は、タブレット端末をはじめICT機器を用いた学習支援システムを通して、一人一人に合った学びができるよう努めていますか。	・保護者アンケート	B	3.05			
			タブレット端末を使った授業は、自分の力をのばすために、役に立ちますか。	・児童生徒アンケート	A	3.73	B		
			家庭との協働により、授業と連動させた家庭学習の充実にも努めたか。	・教師アンケート	B	3			
			お子様に、自主学習の取組を促し、家庭学習の確認をしていますか。	・保護者アンケート	B	2.62			
	④	読書活動の充実	家庭学習(宿題)をきちんとすることができていますか。(予習、復習等)	・児童生徒アンケート	A	3.55	B		
			読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行なったか。	・教師アンケート	B	2.6			
			お子様に、家庭で読書をするよう声を掛けましたか。	・保護者アンケート	C	2.38			
			少しの時間でも読書をするようになりましたか。	・児童生徒アンケート	B	2.91	B		
⑤			ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする児童の育成に努めたか。	・教師アンケート	B		3.4	B
	学校は、地域での活動や調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や地域に貢献しようとする気持ちの育成に取り組んでいると思いますか。	・保護者アンケート		B	3.48				
	畑地についての勉強や地域との交流を通して、畑地のよいところを見つけることができましたか。	・児童生徒アンケート		B	3.32	B			
	(○成果と△課題) ○様々な行事や活動等によりしっかりと取り組むにつれ、学力向上に向けて授業や家庭学習等にもしっかりと取り組むように心掛けた。児童は素直で真面目に頑張り、学年が上がったが、学習面での成績は維持できている。さらに多忙になる2学期も継続していきたい。 ○児童の実態に応じて、即座に学力向上や成果が表れにくい面もあるが、日々の丁寧な指導の積み重ねにより、生活面で着実な成果が見られる。 ○児童に適した学習の方法を検討し、学習内容の定着を図ることができた。 △国語科に課題がある児童が多く、文章を読み取る力の育成を図る授業改善に課題がある。 △読書の推進を行うことができなかった。毎年のことではあるが、読書を推進することへの難しさを感じる。 (改善策等) □児童一人ひとりに必要な力をより具体的に分析し、粘り強く指導・支援を継続していく。 □国語に関する能力や読書について、教職員で日常的に行う取組を明確にして継続することで、少しでも学力向上、読書に対する意欲の向上を目指したい。また、読書活動については、保護者の協力も必要で家庭への啓発活動も進める。 □深い学びの実現や文章を読み取る力の育成のための授業の在り方について研修を行い、教師一人ひとりの授業改善を行う。								
	評価項目	評価小項目		評価の観点			評価資料	評価	平均
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	全ての教育活動を通して、規範意識の向上に努めることができたか。	・教師アンケート	B	3.33	B		
			お子様は、家庭や社会のルールを守ることができていますか。	・保護者アンケート	B	3.29			
			学校やおうちのきまり、社会のきまりを守ることができましたか。	・児童生徒アンケート	B	3.14			
	②	児童生徒の健全育成	児童に寄り添った対応を行うとともに、児童同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めたか。	・教師アンケート	B	3.17	B		
			学校は、一人一人のよさを認め、温かな人間関係を育む教育に取り組んでいると思いますか。	・保護者アンケート	B	3.29			
			友だちと仲よく協力して学校生活を送ることができましたか。	・児童生徒アンケート	A	3.59	B		
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして不登校対応に取り組めたか。	・教師アンケート	B	3.33			
			学校は、お子様が楽しく登校できる学校づくりに努めていると思いますか。	・保護者アンケート	B	3.19			
			毎日元気に登校できましたか。	・児童生徒アンケート	B	3.36			
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速且つ適切な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期発見に努めたか。	・教師アンケート	B	3.33			
	③	関係機関との連携	学校は、お子様が楽しく登校できる学校づくりに努めていると思いますか。	・保護者アンケート	B	3.1	B		
			困っている友だちがいたら、声をかけたり、助けてあげたりしていますか。	・児童生徒アンケート	A	3.5			
			スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けたか。	・教師アンケート	B	2.67	B		
	④	自己肯定感 等	お子様に心配なことがあるときは、学校の先生に相談できていますか。	・保護者アンケート	B	3.24			
			困ったことがあったら相談できる先生(担任の先生以外でも)はいますか。	・児童生徒アンケート	B	3.45			
自己肯定感(自分にはいいところがある)を涵養する取組の工夫や改善を具体的に果たしたか。			・教師アンケート	B	3				
生徒指導の充実	④	自己肯定感 等	自分には「よいところがある」と思いますか。	・児童生徒アンケート	B	2.95	B		
			自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られたか。	・教師アンケート	B	2.83			
			自分は「みんなの役に立っている」と思いますか。	・児童生徒アンケート	B	2.95			
(○成果と△課題) ○いじめや友人関係によるトラブルもほぼなく、児童が楽しく登校することができて良かった。児童のアンケート結果も高い値となっており、互いを思いやる言動が増えてきている。 ○ソーシャルスクールワーカーの先生にとても丁寧に関わっていただけた。 △個々へのより丁寧な指導を心掛ける必要があり、異学年(下学年・上学年)間における良好な人間関係の構築をどのように進めていくか課題である。 (改善策等) □昨年度から学担も学級も変わらない状態で、マンネリ化しているところがあるかもしれない。学担自身が、常に様々なアンテナを立てて児童と接していく必要があるのと同時に、全教職員で児童一人ひとりの成長を見守り、自己肯定感や有用感を高めるような言葉掛けを増やしていく。 □教職員で統一した声掛けや対応が行えるようにするとともに、ハッピー班での活動を増やし、異学年間の関わり方や接し方について学ぶ機会を増やす。									

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	平均	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	毎日「出勤・退庁調査」を記入することで、勤務時間を把握し、長時間勤務という働き方の見直しに努め、組織的な働き方改革を意識することができたか。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B	2.67	B
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めているか。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動の適切な運営がなされているか。	・教師アンケート	B	2.67	B
	③ 他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を助け合ったり、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制を充実させることができたか。	・教師アンケート	B	2.5	B
	(○成果と△課題) ○校務分掌の配慮により、児童に関わる時間を増やすことができ、日々の業務にあたることができた。 ○休日の課外体育の指導は、体育主任と管理職で行ってもらい、助かった。 ○勤務の超過時間が60時間を超えなくなき、適切な勤務を図ることができた。 △日々の実務に追われ、計画的な業務遂行が十分とは言えなかった。全体的に長時間勤務になっている傾向がある。 △勤務時間外や休日の課外活動が当然のように実施され、指導・監視の先生の負担が大きいように感じる。 (改善策等) □全教職員で助け合うことは大切だが、学級担任は、それを当たり前とせず、事前・事後学習や声掛け、授業改善を行っていくことが必要である。教職員一人ひとりの意識の向上が、学校全体の働き方改革につながると思う。 □今後は、業務の優先順位をより明確にし、効率的な進め方を意識して取り組む。また、業務の精選や時間配分の見直しを行い、ワークライフバランスの維持・向上につなげる。 □勤務時間外の活動や課外活動については、管理職を中心に実施や時間等を検討し、教職員の負担軽減を図る。					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	平均	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	学校運営協議会の役割・目的(学校と保護者、地域との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童の健全育成に取り組むこと)を理解しているか。	・教師アンケート	B	3.33	B
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議等の結果を基に、地域の力を学校運営に生かすよう努めることができたか。	・教師アンケート	B	3	
		学校は、地域の力を生かし、学校と家庭、地域がともに子どもを育てる教育活動を推進していますか。	・保護者アンケート	B	3.38	
		畑地小学校は、学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化を図り、地域の力を生かし、学校と家庭、地域がともに子どもを育てる教育活動を推進していますか。	・地域アンケート	A	3.5	
	② 情報発信	PTA役員会や学級便り等あらゆる機会を捉えて、学校の取組や児童の様子を保護者や地域に積極的に知らせることができたか。	・教師アンケート	B	3.17	B
		学校は、学級通信や学校だより等で学校の様子を家庭や地域に知らせていますか。	・保護者アンケート	B	3.48	
		畑地小学校は、取組の様子や児童の様子などを積極的に地域に知らせていると思いますか。	・地域アンケート	B	3.38	
	③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めることができたか。	・教師アンケート	A	3.5	B
		学校は、来校しやすく、相談しやすい体制が整っていますか。	・保護者アンケート	B	3.33	
		畑地小学校は、来校しやすく、相談しやすい体制が整っていますか。	・地域アンケート	B	3.38	
(成果と課題) ○総合的な学習の時間等を活用して、野菜づくりだけでなく、多くの場面で地域の方に関わっていただくことができたことは、児童の学びにとって良かった。 ○ホームページで学校の様子を伝えることができている。 △学校運営協議会でどのような話し合いをしているのか、学校としてどのように取り組んでいくかについての共有が十分に行われなかった。 △学校のホームページについては、同意書を記入する際、画像を荒くしたり、プライバシーに配慮するといった内容があったと思うが、児童の氏名が写っている状況が続いている。今一度、これまで投稿したものを見直ししてほしい。しかし、これにより、投稿頻度がこれ以上減るのは困る。学校での子供たちの様子を知ることができることは楽しみなので、プライバシーに配慮しつつ、投稿してほしい。(保護者) △ホームページの写真を増やしてほしい。もう少し、はっきりと写してほしい。(保護者) (改善策等) □学級通信等、学校での児童の様子もつとを伝えるようにする。 □ホームページについては、保護者や地域へ、学校での取組や児童の様子を伝える発信源として今後も十分に活用していく。ホームページの掲載については、承諾書で「活動の様子や子どもたちの作品等(画像のサイズを小さくして掲載)の画像や動画は、「宇和島市立小中学校・学校情報セキュリティポリシー」に基づいて掲載すること」としている。保護者や地域からの御意見から、再度、掲載内容等について見直し、今後、より学校の取組や児童の頑張りが伝わる内容になるよう努力していく。						